

第1回

4/7 (日) 18:00~20:00

@ 和光大学ポプリホール鶴川 ホール

## みんなの鶴川駅プロジェクト が始動しました🗨️

和光大学ポプリホール鶴川の地下ホールにて、以下のような次第で第1回「鶴川駅を考える会」が開催されました。

- ①小田急電鉄(株)・(株)TNAより、昨年度実施の鶴川駅アイデアコンテストについての報告、「みんなの鶴川駅プロジェクト」の趣旨について説明がありました。
- ②建築家の西村浩さんによる講演会が行われました。
- ③町田市より、今後の鶴川駅周辺の再整備計画の基本方針についての説明がありました。



# みんなの鶴川駅プロジェクト

## 鶴川駅を考える会

ニュースレター

# No. 01

## 西村浩さんによる講演会が 開催されました

第1回の「鶴川駅を考える会」では、建築家の西村浩さんにお越しいただきました。講演会は、「賑わい」や「活性化」のような曖昧な言葉は使用禁止！という宣言から始まり、街をよくするためには市民が「当事者」になることが重要であることが繰り返し語られました。



西村さんは建築やまちづくりなど、様々なフィールドでご活躍されている建築家です。今回の講演会では、西村さんがこれまで実現されてきたプロジェクトを中心にとっても刺激的なお話をいただきました。本紙では一部ではありますがその内容をご紹介します！

ここにしかない価値を  
持っているエリア以外は  
生き残れない



鉄道事業にも大きな影響  
小田急沿線ならではのまちづくりが必要



## “みんな”が“当事者”になる

西村さんのお話の中で、繰り返し強調されたのが、「当事者」という言葉でした。今回のプロジェクトの名前にも含まれる、「みんな」という言葉は、ともすれば誰をさしているのかあいまいになってしまいます。「誰かがやってくれる」ではなく「実現のために自ら動く」当事者がどれだけ関わられるかが、プロジェクトを成功させるためには必要不可欠となります。西村さんご自身が関わったプロジェクトも、様々な活動を行いたいと思うきっかけをつくり、「当事者」の参加を促すことに力がそそがれていました。

## “賑わい”と“活性化”は使用禁止！！

「賑わい」「活性化」はまちづくりを考えるときによく使われる言葉です。しかし、これらも「みんな」と同じようにあいまいな意味で使われ、具体的な事業や提案につながりにくくなるといいます。西村さんの講演は「賑わい」「活性化」は使用禁止！という刺激的な宣言から始まりました。あいまいな言葉でごまかさず、駅や周辺の街がどうなってほしいか、自分がどうしたいかを考えることが重要なのです。

## “量と速度”から“質と密度”の時代へ

多くの大規模計画によって支えられた時代は終わり、現在は新築の減少とともに街の維持費が増え続けています。西村さんは、いずれ公共のお金は足りなくなるという事実を示しながらも、逆にチャンスであると言い切ります。民間が稼ぎながら公共空間を楽しく使って維持できれば、新しい仕事が出まれ、エリアの価値も高まるということなのです。人口増加時代は、公のお金をもとに「計画→つくる→使う」という順番でまちづくりが進められましたが、人口減少時代では「使う→つくる→計画」のように、実際に使う人を起点として、つくり、使い、軌道修正しながら考えることが重要であるといえます。

## プロジェクト紹介

西村さんは、自らも積極的に関わることを通して、多くの街をよくする活動を牽引してこられました。講演会のなかでもいくつかのプロジェクトを当時のお話とともにご紹介いただき、鶴川駅を考える会においても大きなヒントになるお話ばかりでした。皆さまもぜひチェックしてみてください！

### 岩見沢複合駅舎

2009年のグッドデザイン賞大賞を受賞。1500円で駅舎のレンガに刻印できる「らぶりっく！！いわみざわ」プロジェクトでは世界中から約5000人の希望者が集まりました。



### わいわい！！コンテナ

かつての活況を失った佐賀市の商店街で、空き地に芝生を張り、図書館などが入るコンテナを設置したプロジェクト。再生ではなく街を変えることで、子供が遊びまわる幸せな風景が生まれました。



### シンボルロード 「大分いこいの道」

大きな広場の芝生を2700人の市民で協力して張るプロジェクト。なんと30分で張り終えたとのこと！皆が「自分がつくった」と言える広場になりました。



# ご意見・ご感想

今回の会には、様々なご年代・ご職業の方にご参加いただき、アンケートを通して多くのご感想やご意見をいただきましたので一部ご紹介します。第2回以降で話し合うことができればと思います。

- ・近隣大学生が実験的ビジネス展開できる空間
- ・いろいろと他の国の広場の作り方なども取り入れていくと良い街になるのではないか
- ・プロジェクトの当事者を増やし、市民が主体となりプロジェクトを運営することが町づくりの第一歩目ではないか
- ・鶴川駅アイデアコンテストは鶴川ならではの不足しているのでは？
- ・これから当事者になっていく子供達や、一度鶴川を離れてしまった若者への働きかけができるきっかけ作りも大切だと思います
- ・ひとつの建物が街を大きく変える、岩見沢の例が非常に新鮮な印象を受けました
- ・UR 団地の再生
- ・私は町田市在住ではありませんが、今後も“自分が一利用者”としてではなく、“一緒に”鶴川駅を盛り上げる一員として、地元の方の目線で少しながらお力になればと思います
- ・西村さんの話を聞いて、ワークショップでは、自分がやりたいことを仲間と見つけるような感覚で、やりたいことをブラッシュアップするような感覚で、参加したいと思います。

## 今後の予定

- 第2回 4/20 (土) 10:00~12:00  
@ 和光大学ポプリホール鶴川 多目的室
- 第3回 5/18 (土) 10:00~12:00  
@ 和光大学ポプリホール鶴川 多目的室
- 第4回 6/8 (土) 14:00~16:00  
@ 和光大学ポプリホール鶴川 多目的室
- 第5回 6/29 (土) 14:00~16:00  
@ 和光大学ポプリホール鶴川 多目的室
- 第6回 7/20 (土) 10:00~12:00  
@ 和光大学ポプリホール鶴川 多目的室
- 第7回 8/17 (土) 14:00~16:00  
@ 和光大学ポプリホール鶴川 多目的室

次回の「鶴川駅を考える会」は4月20日(土)10:00~の開催予定です。いよいよ次回からは具体的な鶴川駅を考えるための具体的なテーマを設定し、グループに分かれてワークショップを行なっていきます。参加をご希望の方は下記のQRコードまたは、URLからwebにアクセスの上、お申し込みください。皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。



<https://goo.gl/forms/Kq26noBlzUptEfYA3>

※定員は50名(先着順)となります。